

不整脈の治療法解説

徳大病院 市民講座に600人



不整脈の治療法などをテーマに開かれた市民公開講座＝徳島市蔵本町の徳島大大塚講堂

市民公開講座「徳島市蔵本町の同大大塚
徳島大学病院循環器内科フ
オーラム」(同病院循
環器内科主催、徳島新
聞社共催)が22日、徳
法を解説し、約600

人が耳を傾けた。

国立病院機構九州医
療センター(福岡市)

脳血管・神経内科臨床
研究センターの岡田靖

センター長は「脳卒中
は死亡率が高く、寝た

きりの原因としては最
も高い」と指摘。最新

の治療法として、脳の
血管に詰まった血栓を

取り除くカテーテル治
療や血栓を溶かすtPA

A(血栓溶解剤)療法
を紹介した。

脳梗塞の再発予防に
は薬の服用が欠かせな

いと強調し「血液をサ
ラサラにする薬(抗凝

固剤)を独断で中断し
ないで」と訴えた。

徳島大学病院循環器
内科の添木武准教授は

不整脈の一つ「心房細
動」の症状や予防法に

ついて解説。「目まい
や失神などの症状が出

ないケースもあり、発
見が遅れやすい。早期

発見のために日頃から
自分で脈を計ってほし

い」と呼び掛けた。

このほか、講演では
小型で患者の負担が少

ない最新のペースメー
カーや植え込み型除細

動器を使った治療法も
紹介された。

(山口和也)

◇

5月20日付朝刊に詳
報を掲載します。